



2019.3.1 ▶ 2019.8.31  
第95期 中間報告書



イオン株式会社

証券コード：8267

## アジアで最もお客さま・地域社会に貢献する 企業集団を目指し、絶えず革新し続けます。

取締役 代表執行役社長

岡田元也



株主の皆さまにおかれましては、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、平成元年（1989年）のイオングループ発足から30年目を迎えました。平成から令和へと新たな時代を迎えましたが、私たちは、いつの時代も「お客さま第一」の姿勢を貫き、市場やお客さまの変化を見据え、長期的な視点で持続可能な成長と地域社会に貢献するグループを目指し企業価値向上に取り組んでいます。

近年、小売業を取り巻く環境は、かつてないほどのスピードで変化しています。お客さまの嗜好やニーズは、健康志向や低価格志向に加え、地球環境や地域社会に配慮したエシカル消費への関心が高まるなど多様化するなか、10月には消費税が増税され、個人消費については節約志向が益々強まっています。また、Eコマース事業を主とする企業の存在感が一層強まっています。

このような環境のなか、当社グループは、絶えず革新し続ける企業集団として、「イオングループ中期経営方針

（2018～2020年）」において変革の方向性として掲げた「リージョナルシフト」「デジタルシフト」「アジアシフト」の3つのシフトと、それらを支える「投資のシフト」を推進し、それぞれの地域と領域においてナンバーワン企業になるべくグループ構造改革を着実に実行しています。

本年度は、3つのシフトへの実行スピードを更に加速するため、新たに3名の代表執行役副社長事業担当を配置するとともに、プラットフォームの強化として、物流とICT担当を新設し、スピード感を持って経営課題の解決と経営目標を達成する組織体制に刷新しました。

また、地域での競争力を圧倒的に高めるため、国内6地域においてグループ各社の経営統合を進めています。3月、中国・四国地域においてマックスバリュ西日本株式会社が株式会社マルナカと株式会社山陽マルナカを子会社化、9月には東海・中部地域において、マックスバリュ東海株式会社とマックスバリュ中部株式会社が合併し新体制に移行しました。従来のビジネスモデルから変革し、地域で最も貢献するスーパーマーケット事業を早期

に確立することで、各地域No.1の市場シェアを獲得してまいります。

アジアでは、日本同様に総合小売(GMS)事業フォーマットの確立やEコマースなどのデジタルシフトを推進するとともに、ベトナムなど特に高い成長が見込まれるエリアへの経営資源の集中的な投下を行っています。当中間期においては2014年にオープンしたベトナム1号店を2倍の規模に増床し、リニューアルオープンしました。また、最先端ITの導入が進む中国にグループのデジタルシフトの拠点となる新会社を設立しました。中国で開発したデジタルシステムのアセアンや日本への導入を視野に入れ、デジタルシフトを加速するとともに、アジアでの事業展開を加速してまいります。

イオンは、創業以来、お客さまや地域社会への貢献が小売業の永遠の使命であると認識し、環境・社会貢献活動

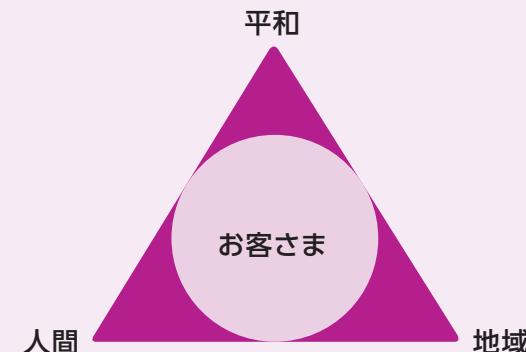
に積極的に取り組んでいます。先日の千葉県を中心に大きな被害をもたらした台風15号や各地域で相次ぐ自然災害の発生時においては、被災地の皆さまが一日も早く平穏な生活を取り戻していただけるよう、グループを挙げて支援活動に取り組んでいます。また、「お客さまから頂いた利益を社会のために役立てたい」という想いのもと、グループ主要企業が税引前利益の1%を拠出し社会貢献活動を行う公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、本年、設立30周年を迎えました。

今後も、企業が持続的に成長していくために長期的なESGの視点に立ち、環境・社会が抱えるグローバルレベルでの課題解決を図る経営を推進することで、アジアで最もお客さま、地域社会に貢献する企業集団を目指してまいります。

株主の皆さまには、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオン (AEON) とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。私たちの理念の中心は「お客さま」：イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。

【平和】：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

【人間】：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

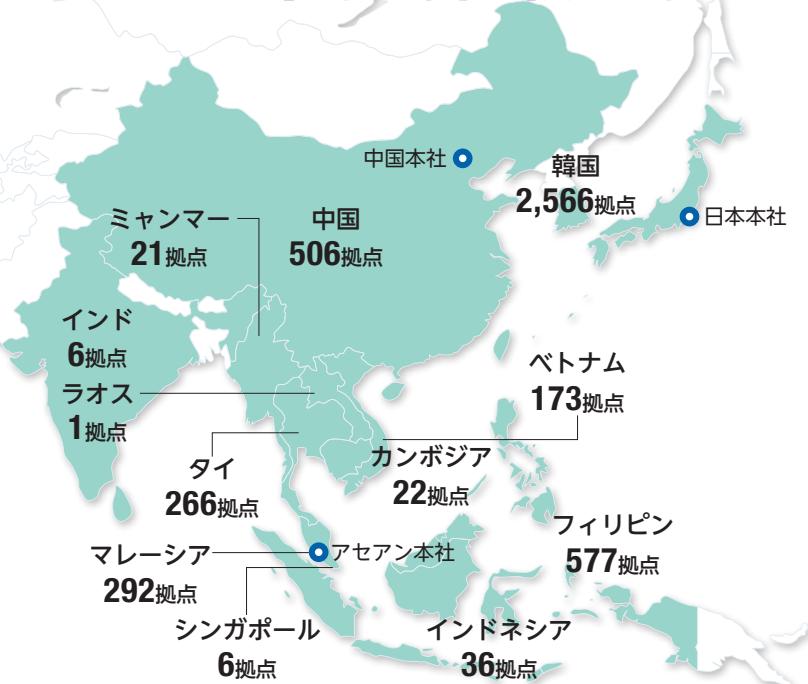
【地域】：イオンは、地域のくらしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオンは基本理念のもと、**絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」**を実践してまいります。

# グループの成長を牽引する “アジアシフト”

21世紀はアジアの時代と言われ、目覚ましい経済成長を続けるアジア。イオンは、1984年にマレーシアに現地法人を立ち上げて以来30年余にわたり、アジア各国へ積極的に事業を展開しています。地域別GDPは、2017年にアジアが北米を抜きNo.1となっており、世界で最も大きく、かつ躍動するマーケットとなっています。この市場で優位なポジションを確立するため、引き続きアジアシフトをグループの成長を牽引する重点施策と位置付け、アジア各国における事業の拡大と地域密着経営を推進してまいります。

## アジアでの事業展開を拡大

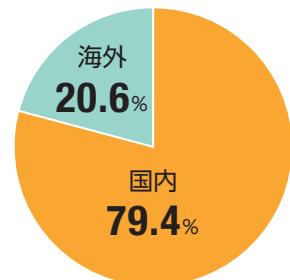


アジアに広がる  
グループ営業拠点

**4,472** 拠点

国内 **17,195** 拠点

拠点数構成

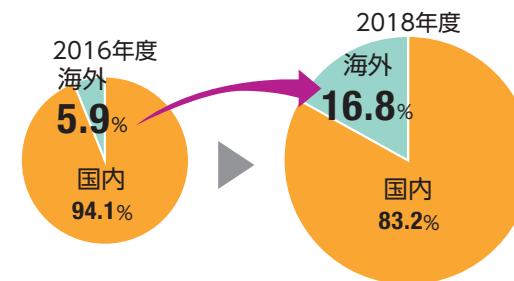


(2019年8月現在)

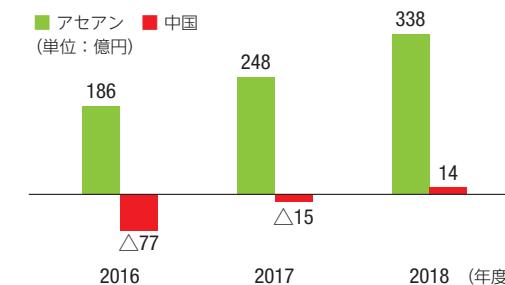
## ▶ アジアでの収益が拡大

アジアでの事業展開を加速するため、2011年から、日本・中国・アセアンの3本社体制を構築し地域に密着した経営を推進しています。アジア12カ国で小売業、金融、デベロッパー、サービス・専門店など様々な事業を展開し、その拠点数は4,472カ所になりました。2020年に向けての中期経営計画では、アジアでの更なる営業利益率の拡大を目標に掲げ取り組んでいます。

■エリア別 営業利益構成比



■アセアン、中国エリアの営業利益推移



## ▶ アジアから加速するデジタルビジネス

### ■新会社イオンデジタルマネジメントセンターを設立

米国に匹敵するIT先進国であり、優秀なIT人材、最先端情報・事例等が豊富な中国に、2019年4月、グループのデジタルシフトの拠点となる新会社を設立しました。AI技術等を活用したリアル店舗とデジタルの融合を通じた新しいビジネスモデルを構築し、お客さまにイオンならではの新たな顧客体験を提供するとともに、後方業務の生産性向上やグローバルなIT人材の育成にも取り組みます。

### ■最新デジタル技術を導入した「イオンモール常熟新区」OPEN

最新のデジタル技術を導入し、新たな利便性の高いサービスを提供するイオンモールの中国20号店が6月28日にオープンしました。スマホアプリに館内の行きたい場所を入力することで、マップと音声による一番効率的なルートをご提案し時間を無駄にすることなくショッピングをお楽しみいただけます。また、帰宅時には車両ナンバーを入力するだけで、駐車位置が瞬時にわかるサービスを導入するなど、新たなショッピングモール体験を提供します。



お客さまのスマートフォンで商品スキャン QRコードをかざし決済完了

※ 深センに開店した店舗では、お客さまにスマートフォンで商品のスキャンしていただき端末にQRコードをかざすだけで決済が完了するサービスを開始。また、この秋には顔認証による決済サービスを開始予定。



「バーチャル試着」が可能になるサイネージ 館内を人工知能(AI)搭載ロボットが巡回

# 地域に最も貢献する 企業グループを目指して



## ☆ グループ構造を変革するスーパーマーケット改革

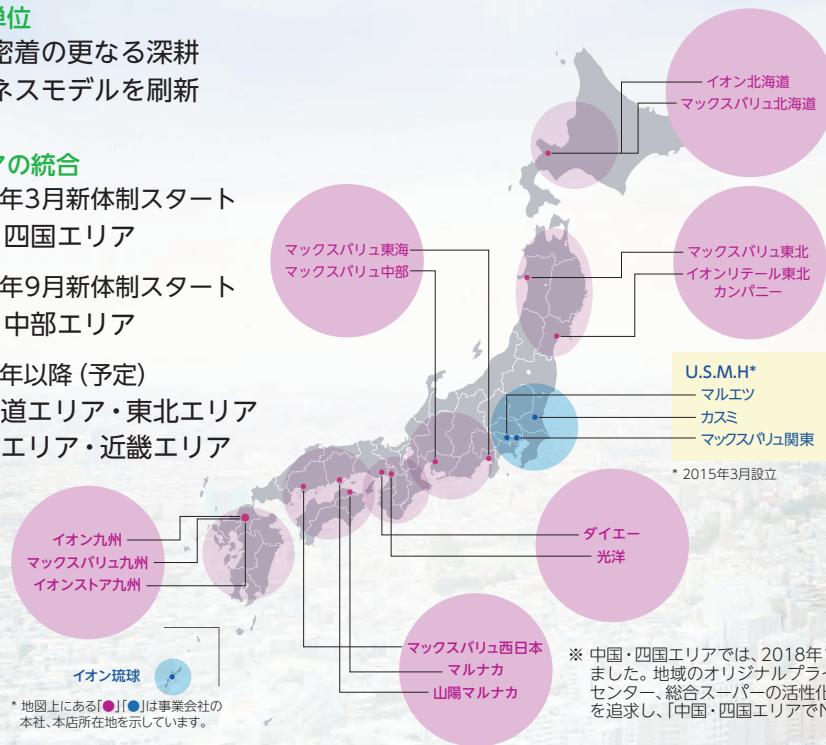
食を扱う事業会社が、それぞれの地域においてNo.1の市場シェアを獲得できる強い組織に生まれ変わるべく、全国6エリアにおいて5,000億円程度の売上規模の企業体への再編を進めています。再編により、各エリアで成長投資が可能な売上規模となり、そのエリアで最も効率的で最適な事業基盤を整備していきます。2019年3月、中国・四国地域においてマックスバリュ西日本株式会社が株式会社マルナカと株式会社山陽マルナカを子会社化。2019年9月には、東海・中部地域でマックスバリュ東海株式会社とマックスバリュ中部株式会社が合併して新体制がスタートしました。地域ごとの特色を活かし、豊かな食を提供するために、それぞれが持つ経営資源やノウハウを共有、統合して、シナジーを創出してまいります。

### エリア単位

- 地域密着の更なる深耕
- ビジネスモデルを刷新

### 各エリアの統合

- 2019年3月新体制スタート  
中国・四国エリア
- 2019年9月新体制スタート  
東海・中部エリア
- 2020年以降(予定)  
・北海道エリア・東北エリア  
・九州エリア・近畿エリア



※ 中国・四国エリアでは、2018年10月、株式会社フジと資本業務提携契約を締結しました。地域のオリジナルプライベートブランド商品の共同開発やショッピングセンター、総合スーパーの活性化に向けた取り組み等、さまざまな分野でシナジーを追求し、「中国・四国エリアでNO.1の事業連合体」を目指しています。

## ☆ 地域コミュニティと共生する様々な取り組み

### 地域の健康拠点を目指して

お買物ついでに気軽にウォーキング！

イオンモールでは、お客さまの健康的なライフスタイルをサポートするため、全国約145のモールの館内にウォーキングコースを設定し開放しています。館内にはリーフレットや歩行距離・消費カロリーが分かるサインも設置し、ウォーキングをサポートしています。また、一部のイオンモールでは歩き方のレッスン等、ウォーキングに関連した企画を定期的実施しており、お客さまが健康づくりを気軽に始められるきっかけをご提供しています。

Health AEON MALL  
**MALL WALKING**  
イオンモール ウォーキング

モールウォーキングがおすすめの訳

- 1 お買い物ついでに時間を有効活用！
- 2 時間や天候に左右されない！
- 3 安心の休憩スペース
- 4 自動販売機・飲食店が充実！



### くらしのライフラインとして

#### 「災害時における相互支援に関する協定」を電力会社と締結

大規模災害が発生した際に被災者支援にあたることを定めた協定を、5月に北陸電力、6月に東京電力、8月に四国電力と締結しました。平時より防災力向上に向け、密接な連携を図るとともに、災害復旧要員向けの支援物資の提供および電力網の復旧拠点設営用のスペースとして店舗駐車場の貸与を行うことなどを定めています。千葉県を中心に大きな被害をもたらした9月の台風15号への対応では、同協定に基づき電力会社と連携し、復旧活動を支援しました。

### 地域貢献につながる電子マネー

#### 「ご当地WAON」発行から10周年を迎えました。

地域や自治体との連携のもと、ご利用金額の一部を地域に寄付しお役に立てたく「ご当地WAON」は、2009年4月に発行を開始し、これまでに150種類(2019年9月末時点)を発行。10年間累計の寄付金額は約15億円超となりました。



ご当地WAONの詳細はこちら  
<https://www.waon.net/card/region>



ご当地WAONは券種により定められた地域ごとの「環境保全」「観光振興」「子育て支援」などの活動にお役に立てております。

環境に配慮したトップバリュ商品を拡充

6月4日より、全国のイオン等、約510店舗で、リサイクル原料を使用したマイバッグや、プラスチックの削減に向けて紙や木材を使用した簡易食器など、トップバリュ環境配慮型商品24品目を順次販売しました。近年、プラスチックごみによる環境汚染などが問題になるなか、イオンでは環境に配慮した商品の企画・開発と、取り扱いの拡充に取り組んでいます。



原料の一部にリサイクルプラスチックを使用したマイバッグ



適切に管理された森から生産された木材や紙を使用したFSC認証の簡易食器

人気コスメブランド「イヴ・ロシェ」独占販売開始に向け共同出資会社を設立

当社とウエルシア ホールディングス(株)は、フランスのボタニカルビューティケアブランド、YVES ROCHER (以下イヴ・ロシェ)の国内初の独占販売を行う共同出資会社イオンレーヴコスメ(株)を8月に設立しました。フランスで創業し、60年の歴史を持つイヴ・ロシェは、約90カ国に6,700以上の店舗を展開する世界的に知名度の高いブランドです。天然由来の原料にこだわった高品質で、手ごろな価格帯のイヴ・ロシェは、最も日本市場への導入が切望されてきたブランドのひとつです。化粧品販売シェア国内第1位のイオンの店舗網を活かし、2025年度までに全国約2,000店舗での販売を目指しています。



人を大切にする経営が評価されました

「なでしこ銘柄」に選定されました

2019年3月、女性活躍推進に優れた上場企業を経済産業省と東京証券取引所が選定する「なでしこ銘柄」に2年連続で選定されました。評価された取組としては、年に1回ダイバーシティ推進の取り組みを表彰する「ダイ満足」アワードの開催、事業所内保育施設の整備、階層別セミナーの実施です。

今後もダイバーシティ経営をさらに推し進め、多様な人材の価値観・能力を活かすことでお客さま満足の上昇に努めてまいります。



「健康経営優良法人2019(ホワイト500)」に認定

社員の健康づくりが企業活動の要ととらえ、社員とその家族が心身ともに健やかで、継続して長期にわたり働き続けられることを目指した「健康経営」に取り組んでいます。これらの取り組みが評価され、2019年2月、経済産業省と日本健康会議が優良な健康経営をしている法人を認定する健康経営優良法人(ホワイト500)において3年連続で認定されました。



会員登録でWAONポイントが常時2倍にアップ

電子マネー「WAON」の利用拡大によるキャッシュレス推進を図るため、2019年7月1日より、会員登録いただいた電子マネーWAONカードを対象に、イオングループの店舗にて電子マネーWAONのご利用金額200円(税込)ごとに1ポイント付与から、200円(税込)ごとに2ポイント付与へポイントアップするサービスを開始しました。



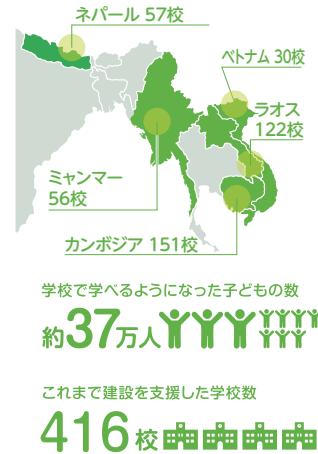
地域や社会とよりよい関係を築くために設立した財団が30年目を迎えます。

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念を具現化する団体として1989年に設立され30年目を迎えた「イオンワンパーセントクラブ」と1990年設立の「イオン環境財団」の取り組みの一例をご紹介します。

<公益財団法人イオンワンパーセントクラブ>

●アジアでの学校建設支援事業

「平和な社会の実現には基礎教育の充実が不可欠」という想いのもと、教育施設の整備が遅れているアジア5カ国において、2000年より学校建設支援を行っています。全国から寄せられた募金とイオン1% (ワンパーセント) クラブからの拠出金を活用し、これまでに416校の学校が完成しました。校舎の建設とともに、給水施設の整備のほか、教員の養成など、ソフト面での支援も行っています。



元気いっぱい授業を受ける子どもたち

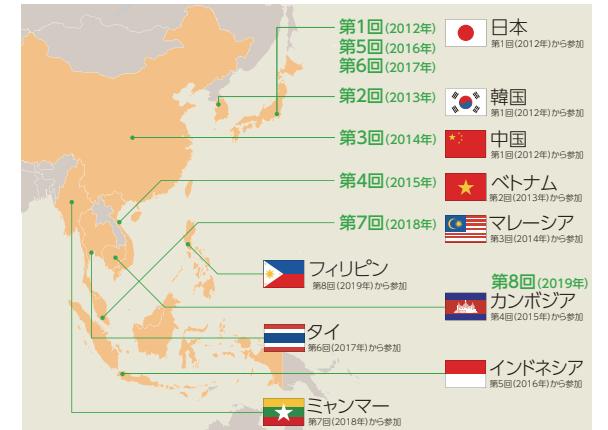


支援事業により建設された新校舎

<公益財団法人イオン環境財団>

●アジア学生交流環境フォーラム (ASEP)

イオン環境財団では、美しい地球を次世代に引き継ぐため植樹活動をはじめ地球環境の保全に貢献するさまざまな環境活動を行っています。グローバルなステージで活躍する環境分野の人材育成を目的としてアジア各国の大学生が集い、各国の自然環境や価値観の違いを学びながら、地球環境について国境を越えて討議する「アジア学生交流環境フォーラム」を開催しており、2019年は8月にカンボジアで開催しました。



「イオンdeパラスポ」を全国各地で開催

5月29日にイオンモール幕張新都心でスタートした「イオンdeパラスポ」は今年度、全国20ヶ所で開催します。本企画は、イオンの商業施設へご来店されるお客さまに、パラスポーツの体験や交流イベントを通して、多様な方々が相互に支え合う、“心のバリアフリー”への理解を深めていただくことを目的に開催しています。今後も人々の多様性を認め合う共生社会の実現に向けてパラスポーツの推進に取り組んでまいります。



日本障がい者スポーツ協会オフィシャルパートナー  
JPSA



# 連結営業収益が9期連続で過去最高となりました。

詳しい決算概況については、下記URLまたは右記QRコードより当社サイトをご覧ください。  
<https://www.aeon.info/ir/>



当第2四半期累計期間の連結業績は、営業収益が9期連続で過去最高となる4兆2,902億15百万円(前年同期比100.6%)、営業利益は863億26百万円(同96.1%)、経常利益は797億67百万円(同87.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億91百万円(同35.9%)となりました。なお当連結業績には、当社連結子会社のイオンディライト(株)の子会社である(株)カジタクで判明した過年度の不正会計処理及び誤謬の修正額を一括計上しており、その影響を除いた場合の営業収益は4兆3,048億28百万円(同100.9%)、営業利益は1,008億71百万円(同112.3%)、経常利益は943億16百万円(同103.8%)となり、いずれも過去最高となりました。

## 連結要約損益計算書 (単位: 億円)

科目	前中間期 2018.3.1 ~ 2018.8.31	当中間期 2019.3.1 ~ 2019.8.31
営業収益	42,664	42,902
営業利益	898	863
経常利益	908	797
親会社株主に帰属する 四半期純利益	105	37

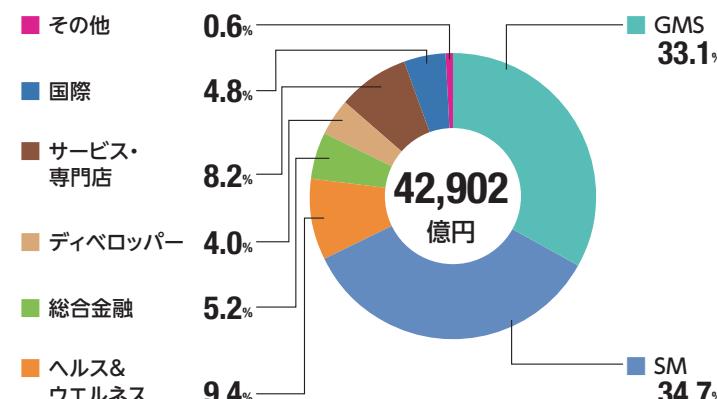
## 直近9期の第2四半期累計の営業収益推移 (単位: 億円)



## 事業のセグメント情報 (2019.3.1~2019.8.31) (単位: 億円)

	営業収益	営業利益
GMS事業	15,304	△75
SM事業	16,051	28
ヘルス&ウエルネス事業	4,347	169
総合金融事業	2,393	342
ディベロッパー事業	1,846	302
サービス・専門店事業	3,789	22
国際事業	2,231	40
その他事業	267	17
調整額	△3,330	16
連結損益計算書計上額	42,902	863

## 事業別営業収益 構成比率



※グラフは連結調整前の単純合算数値をベースとして作成しています。



## GMS (総合スーパー) 事業

イオンリテール(株)は8店舗を出店しました。一方で、既存店においては22店舗の活性化を実施し、地域のお客様の多様化するニーズに対応しました。またイオン北海道(株)は、地方店舗の活性化による収益拡大を目的に、2015年に(株)ダイエーから承継した店舗の大型活性化を実施しました。同店では、健康志向の高まりに対応したヘルス&ウエルネス商品の品ぞろえを強化したことにより、売上が好調に推移しました。

## SM (スーパーマーケット) 事業

SM事業では、地域での競争力を高めるため、中国・四国地域においてグループ子会社の再編を実施し事業基盤の強化を進めました。また、首都圏でスーパーマーケット連合を展開するユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)では、同社のグループ共通戦略として、継続的に一部商品部門の仕入機能を統合するとともに、共同調達領域を拡大する等、コストの低減に努めました。また、お客様の利便性向上や消費増税への対応等の取り組みを強化しました。

## ヘルス&ウエルネス事業

ウエルシアホールディングス(株)および当社連結子会社は、既存店の改装等ウエルシアモデルの積極的な推進、調剤併設店舗の増加(8月末現在1,350店舗)による調剤売上の伸長により既存店の売上が好調に推移しました。加えて、都市部における事業基盤を強固なものとするため子会社の組織再編を実施し、同社グループ全体の店舗数は1,976店舗となりました。

## 総合金融事業

イオンフィナンシャルサービス(株)が、即時にイオンカードを発行・ご利用いただけるサービスを開始しました。また、10月からの消費増税を控え、キャッシュレス推進の販促施策を強化し国内の有効会員数は2,857万人、カードショッピング取扱高は2兆8,368億円(前年比108.8%)となりました。海外においても業容を拡大し、海外の有効会員数は、1,527万人(前年同期差187万人増)となりました。

## ディベロッパー事業

イオンモール(株)は、国内の地域No.1モールを増やすことにより競争優位性を高めるため、3モールの増床、9モールのリニューアルを実施しました。また海外では、中国でドミナント出店の進展に伴い、「イオンモール」のブランド力が向上し、集客力が向上しました。ベトナムでは、急速な経済発展に伴うマーケットニーズに対応した同国1号店の増床を実施し、中国、アセアンとも増収増益となりました。

## サービス・専門店事業

(株)イオンファンタジーは、24店舗の店舗活性化及び増床を実施し、活性化後の売上が好調に推移するなど国内事業の売上高・営業利益はいずれも過去最高となりました。またアセアンにおいても店舗活性化の効果等により増収増益となりました。また、イオンディライト(株)は、更なる成長に向けて、アジアにおいて、安全・安心、人手不足、環境の3つを成長戦略の柱に社会課題を解決する環境価値創造企業を目指した取り組みを進めました。

## 国際事業

国際事業では、イオンマレーシアが好調に推移し増収増益となったほか、中国においては、1年でもっとも売上規模の大きい春節において、需要のピークに合わせた販促を実施したこと等により北京イオンと青島イオンの売上が好調に推移し、損益が改善しました。

株主優待のご案内

AEON OWNER'S CARD

イオン オーナーズカード



毎日のお買物がおトク！  
3・4・5・7%のキャッシュバック

オーナーズカードをご提示いただき、現金、WAON（イオンの電子マネー）、イオンマークのカードによるクレジット払い、イオン商品券、イオンギフトカードでご精算いただくと、対象となるお支払金額合計に対し、ご所有株式数に応じた返金率をかけた金額を半期毎にまとめてご返金します。

\*半年で家族カードご利用分と合わせ最高100万円までのお買物がご返金対象になります。  
\*ご利用の際は、必ずお支払いの前にオーナーズカードをご提示ください。  
\*金券、ギフト券、イオンマークのカード以外のクレジット払いやWAONPOINT払い、その他各種ポイントでのお支払はご返金の対象になりません。

こんなところでも使える！オーナーズカード

キャッシュバックの特典はありませんが、オーナーズカードのご提示で割引または値引を受けることができるイオングループをご紹介します。

株式会社イオンイーハート

特典 お会計時 **10%**割引



CAFE de PERAGORO



持株数とご返金率



イオンライフ株式会社

特典 「イオンのお葬式」セットプラン価格から5千~2万円引  
※対象：オーナーズカード名義の方から見て2親等以内のご家族がお亡くなりの場合



特典の一例  
イオンの一般葬  
通常価格 655,000円(税別)  
▶株主さま値引 **20,000円引き**で  
**635,000円**  
24時間365日いつでも受付しております  
0120-711-062  
<https://www.aeonlife.jp/owners/>



イオンラウンジ

AEON LOUNGE

オーナーズカードのご提示で全国189店舗のイオンラウンジをご利用いただけます。



- 【北海道】札幌桑園店、札幌発寒店、札幌元町店、札幌苗穂店、苫小牧店、名寄店、旭川西店、旭川駅前店
- 【青森県】八戸向向店
- 【岩手県】盛岡店、盛岡南店
- 【宮城県】イオンタウン仙台泉大沢、富谷店、名取店、石巻店、仙台和町店
- 【秋田県】大曲店、御所野店
- 【山形県】三川店、天童店
- 【福島県】いわき店、いわき小名浜店
- 【茨城県】水戸内原店、下妻店、土浦店、つくば店
- 【栃木県】佐野新都市店、小山店
- 【群馬県】高崎店、太田店
- 【埼玉県】入間店、川口前川店、北戸田店、羽生店、浦和美園店、与野店、レイクタウン、せんげん台店、大井店、春日部店、八戸田店
- 【千葉県】柏店、鎌取店、マリンピア店、幕張新都心店、イオンタウンおゆみ野、稲毛店、鎌ヶ谷店、津田沼店、八千代緑が丘店
- 【東京都】館山店、成田店、ポンベルタ成田店、千葉ニュータウン、銚子店、船橋店、木更津店、ダイエーいちかわ、コルトンプラザ店、ユーカリが丘店
- 【東京都】南砂店、東雲店、品川シーサイド店、板橋店、ザ・ビッグ昭島店、むさし村山店、日の出店
- 【東京都】東久留米店、多摩平の森店、板橋前野町店
- 【神奈川県】大和鶴間店、久里浜店、茅ヶ崎中央店、大和田店、秦野店、座間店
- 【新潟県】新潟南店、新潟青山店、新潟南店、常滑店
- 【富山県】高岡南店、とみな店
- 【石川県】かほく店、新小松店
- 【山梨県】甲府昭和店
- 【長野県】上田店、松本店
- 【岐阜県】各務原店、大垣店
- 【静岡県】浜松志都呂店、浜松西店、浜松市野店、焼津店、富士宮店、イオンタウン富士南
- 【愛知県】清水店、ワンダーシティ店、大高店、ナゴヤドーム前店
- 【名古屋茶屋店】新瑞橋店、名古屋みなと店
- 【奈良県】大和店、久里浜店、茅ヶ崎中央店、大和田店、秦野店、座間店
- 【和歌山県】和歌山店
- 【兵庫県】猪名川店、伊丹店、伊丹昆陽店、神戸北店、シエームス山店
- 【滋賀県】大津京店、(旧)西大津店、草津店
- 【京都府】京都五条店、洛南店、高の原店、久御山店、京都桂川店
- 【大阪府】大日店、鶴見緑地店、喜連瓜破駅前店、宇品店、堺北花田店、日根野店、りんくう泉南店、茨木店
- 【香川県】高松店、綾川店
- 【愛媛県】新居浜店、今治新都市店
- 【福岡県】香椎浜店、福岡伊都店、筑紫野店、福岡店、八幡東店、若松店、伊方店、大牟田店、小郡店、三重県、四日市尾平店、東員店、桑名店、鈴鹿店、津南店
- 【佐賀県】佐賀大和店
- 【長崎県】大塔店
- 【熊本県】熊本店
- 【大分県】パークプレイス大分店
- 【宮崎県】延岡店、宮崎店、都城店
- 【鹿児島県】鹿児島店、始良店
- 【沖縄県】那覇店、南風原店、具志川店、ライカム店

(2019年10月20日現在)

- イオンラウンジは会員さまの共用のスペースですので、静かな環境の維持にご協力をお願いいたします。
- ご用意できる席数は、1組あたり最大4席までとなります。ご同伴の方が会員資格証を別にお持ちの場合でもご合席にてご利用をお願いいたします。
- ご利用時間は、通常AM10:30~PM7:00(最終受付PM6:30)を標準としております。また、終了間際にご利用の場合は、ご利用時間を制限させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- より多くのお客さまにご利用いただくため、ご利用資格カードを複数枚お持ちの場合でもお一人さま1日1回30分以内でのご利用をお願いいたします。
- ご入室・ご退室は、同伴者さまがお揃いになってから一緒をお願いいたします。
- 18歳未満の方のみでのご利用、また高校生以下のお客さまのみではご利用いただけません。
- ラウンジ内では試供品以外のご飲食はご遠慮ください。
- お子さまのご利用にあたっては、ご休憩中の他のお客さまへ十分にご配慮をお願いいたします。
- サービス内容に関しては、店舗により異なる場合がございます。各ラウンジ案内をご確認のうえご利用いただけますようお願いいたします。

※特に名称を表記していない場合はイオンおよびイオンスタイルの店舗となります。

会社概要 (2019年8月31日現在)

社名	イオン株式会社 (AEON CO.,LTD.)
設立	1926年9月
事業内容	小売、ディベロッパー、金融、サービスおよびそれに関連する事業を営む会社の株式または持分を保有することによる当該会社の事業活動の管理
資本金	2,200億7百万円
本社	〒261-8515 千葉県美浜区中瀬一丁目5番地1

取締役 (2019年8月31日現在)

取締役	横尾 博 (取締役会議長)
取締役	岡田 元也 (指名委員 報酬委員)
取締役	山下 昭典
社外取締役	内永 ゆか子 (指名委員会議長 監査委員)
社外取締役	長島 徹 (報酬委員会議長 監査委員)
社外取締役	塚本 隆史 (監査委員 報酬委員)
社外取締役	大野 恒太郎 (監査委員会議長 指名委員)
社外取締役	ピーターチャイルド (指名委員 報酬委員)

執行役 (2019年8月31日現在)

代表執行役社長	岡田 元也	グループCEO
代表執行役副社長	吉田 昭夫	ディベロッパー事業担当兼 デジタル事業担当
代表執行役副社長	岡崎 双一	GMS事業担当 兼 国際事業担当
代表執行役副社長	藤田 元宏	SM事業担当
執行役副社長	山下 昭典	財務・経営管理担当
執行役副社長	若生 信弥	経営企画担当
執行役	羽生 有希	中国事業担当
執行役	柴田 英二	商品・物流担当
執行役	鈴木 正規	総合金融事業担当
執行役	三宅 香	環境・社会貢献・PR・IR担当
執行役	小佐野 豪績	物流改革担当
執行役	渡邊 廣之	人事・管理担当兼 リスクマネジメント管掌
執行役	齊藤 岳彦	ネット事業担当
執行役	西峠 泰男	アセアン事業担当

株式の状況 (2019年8月31日現在)

発行可能株式総数	2,400,000,000株
発行済株式総数(自己株式を含む)*	871,924,572株
単元株式数	100株
総株主数	825,959名

\*自己株式は、30,118,014株です。

大株主(上位10名) (2019年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	52,454千株	6.23%
株式会社みずほ銀行	33,292千株	3.95%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	28,568千株	3.39%
公益財団法人イオン環境財団	21,709千株	2.57%
公益財団法人岡田文化財団	21,242千株	2.52%
農林中央金庫	18,133千株	2.15%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	14,923千株	1.77%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	13,719千株	1.62%
イオン社員持株会	12,325千株	1.46%
イオン共栄会(野村證券口)	11,989千株	1.42%

注：持株比率は、自己株式(30,118,014株)を除外して計算しています。

株主メモ

決算期	2月末日
基準日	期末配当、定時株主総会 2月末日 中間配当 8月末日 (その他必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)

定時株主総会	5月末日までに開催
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (アドレス) <a href="http://www.aeon.info/ir/">http://www.aeon.info/ir/</a>

上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

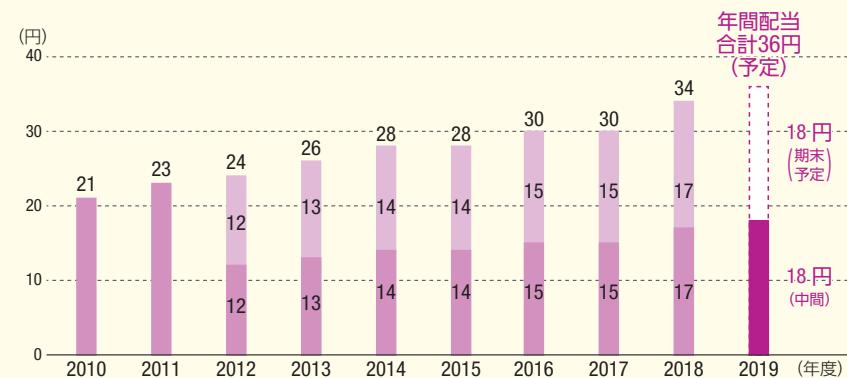
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
---------------	--

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っています。  
**※住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について**  
 株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座にて管理されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  
**※未払配当金の支払いについて**  
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2019年度 中間期の配当について

2019年10月9日の取締役会決議により、1株当たり18円(普通配当17円、イオングループ誕生30年の記念配当1円)とさせていただきます。期末配当金は、18円を予定しており、年間配当は、36円となる見通しです。なお、中間期の配当金のお支払開始日は、2019年10月25日とさせていただきます。

年間配当金の推移(1株当たり)



第94期 定時株主総会を開催しました

千葉県の幕張メッセで開催し取締役8名を選任いただきました。また当日、株主総会にご来場いただけない方の議決権行使においては、スマホなどの電子行使を推奨しました。5万名の株主さまが電子行使をご利用いただき、削減された郵送費用の一部255万円を公益財団法人イオン環境財団に寄付させていただきました。皆さまの議決権行使が豊かな森づくりにつながりました。ご協力ありがとうございました。

来場株主数：1,951名  
 開催時間：2019年5月29日(水) 10時~11時32分

株主総会の状況は、  
 下記サイトよりご確認ください。

<https://www.aeon.info/ir/stock/meeting/>



## 安心価格と安心サポートの新サービス、新端末登場



### 「やさしいスマホサービス」はじめました。

かけ放題と電話サポートをセットにした「やさしい10分かけ放題」

見やすい文字、見やすいアイコンでわかりやすいスマホと  
イオンモバイルの安心・便利なサービスで  
むずかしいスマホを「やさしいスマホ」に。  
全国のイオンモバイルスタッフがお手伝いします。

60歳  
以上の  
お客さま  
対象

やさしい10分  
かけ放題オプション

月額  
料金 **850**円(税抜)

+

たとえば

音声500MBプラン

月額  
基本料金 **1,130**円(税抜)

なら

月額  
料金

**1,980**円(税抜)

電話・インターネット・ゲーム・LINEもできます  
(スマホ本体は別売です)

### イオンモバイルの「やさしい10分かけ放題」 オプションサービスとは

10分以内の国内通話が何度でも無料

#### イオンでんわ10分かけ放題

「イオンでんわ」を使って発信した通話が対象  
1回の通話で10分超過時は30秒10円がかかります。

+

気軽に聞けるお電話でのサポート

#### イオンスマホ電話サポート

①操作サポート ②遠隔サポート ③有償出張サポートが  
セットになった安心のサービス(9時~20時/年中無休)



SHARP  
**AQUOS sense2**  
やさしいスマホ  
[SH-M08P5S]

ボタンや文字が大きく見やすい  
困ったときのサポートボタン

イオンモバイルをご契約でない  
お客さまは「イオンでんわ」を  
ご利用いただけません。  
詳しくはイオンモバイルの  
ホームページをご確認ください



イオン やさしいスマホ

